

シンポジウム 大学改革の潮流と下関市立大学の将来 ～大学についてみんなで語ろう！～

近年、大学改革の動きについては、さまざまな議論が交わされています。

本講演会では、まず、コンプライアンス問題の専門家である郷原信郎先生より、大学のコンプライアンス・ガバナンスの一般論の観点から公立大学の場合に問題になる点について、また社会学者の石原俊先生より、「大学ガバナンス」(大学での意思決定や統治)におけるピア・レビュー(研究者仲間や同分野の専門家による評価や検証)と大学の自治の重要性についてお話しいたします。

その後、本学における大学改革の現状と課題、および「大学とは何か」についても、可能な範囲で学術的観点から取り上げ、パネル・ディスカッションを開催いたします。

開催日時： 12月13日(金) 16:30～18:30

場 所： 下関市立大学 A-101教室

※皆様ぜひご参加ください。特に学生の参加を歓迎いたします！

提題1 「公立大学におけるコンプライアンスとガバナンスの基本問題」

講師：郷原 信郎 氏 (郷原総合コンプライアンス法律事務所 代表弁護士)

提題2 「大学ガバナンスにおけるピア・レビューと自治」

講師：石原 俊 氏 (明治学院大学社会学部教授)

パネル・ディスカッション 「下関市立大学における改革の現状と課題」

(1)報告

報告者：関野 秀明 (下関市立大学経済学部教授)

(2) 討議および質疑応答

パネリスト：郷原 信郎 氏、石原 俊 氏、関野 秀明

司会：桐原 隆弘 (下関市立大学経済学部教授)

【郷原 信郎 氏 プロフィール】

1955年、島根県生まれ。東京大学理学部卒。東京地検特捜部、長崎地検次席検事、法務省法務総合研究所総括研究官などを経て、2006年に弁護士登録。08年、郷原総合コンプライアンス法律事務所開設。これまで、名城大学教授、関西大学客員教授、総務省顧問、日本郵政ガバナンス検証委員会委員長、総務省年金業務監視委員会委員長などを歴任。著書に『告発の正義』『検察の正義』(ちくま新書)、『法令遵守』が日本を滅ぼす』(新潮新書)、『思考停止社会—「遵守」に蝕まれる日本』(講談社現代新書)など多数。

【石原 俊 氏 プロフィール】

明治学院大学社会学部教授。1974年、京都市生まれ。京都大学大学院文学研究科(社会学専修)博士後期課程修了。博士(文学)。千葉大学助教、明治学院大学准教授、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員などを経て現職。専門は、社会学・歴史社会学・島嶼社会論。著書に『近代日本と小笠原諸島』(平凡社、第7回日本社会学学会奨励賞受賞)、『群島』の歴史社会学』(弘文堂、2013年)、『群島と大学』(共和国、2017年)、『硫黄島』(中公新書、2019年)など。共編著に『戦争社会学の構想』(勉誠出版、2013年)などがある。

【お問合せ先】下関市立大学学会 (担当 平川)

TEL・FAX：083-252-8760 / E-mail：scu.kouen.gakkai@gmail.com